

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立嶺町小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・昨年度、課題として挙げられた4年「地域や市の様子」5年「都道府県の様子」6年「国土の自然などの様子」の領域において、資料集や地図帳、デジタル教材を活用するなどし、文章と資料を関連付け、視覚的に理解できるように指導の工夫を行った。今年度、目標値、全国と区の平均正答率ともに上回っており、授業改善の成果が表れたといえる。

(2) 課題

- ・既習事項や生活経験と、資料等の情報を関連付けて考えることに課題がある。資料から関連付けたり、読み取ったりし、それらを活用した記述の仕方等を指導していく。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 正答率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	校内正答率は、目標値、区平均正答率、全国平均正答率ともにやや上回っている。	/	/
第5学年	校内正答率は、目標値、全校平均正答率よりも上回り、区平均正答率よりもやや上回っている。	校内正答率は、目標値、区平均正答率、全国平均正答率ともにやや上回っている。 (第4学年時)	/
第6学年	校内正答率は、目標値、区平均正答率、全国平均正答率ともにやや上回っている。	校内正答率は、目標値、区平均正答率、全国平均正答率ともにやや上回っている。 (第5学年時)	校内正答率は、目標値、全国平均正答率ともにやや上回っている。 (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<4年生> ・平均正答率は、目標値や区平均正答率、全国平均正答率と同等である。	<4年生> ・平均正答率は、目標値や区平均正答率、全国平均正答率をやや上回っている。	<4年生> ・平均正答率は、目標値を大きく上回っており、区平均正答率、全国平均正答率よりやや上回っている。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>< 5年生 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、目標値や区平均正答率、全国平均正答率と同等である。地図の縮尺の見方や都道府県の位置などの知識の習得に課題が見られる。 <p>< 6年生 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 6年生の平均正答率は、目標値、区平均正答率、全国平均正答率よりやや上回っている。 「国土の自然環境と国民生活」の領域がやや低い傾向にある。 	<p>< 5年生 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、目標値や区平均正答率、全国平均正答率と同等である。情報を関連付けて考えることに課題が見られる。 <p>< 6年生 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 6年生の平均正答率は、目標値より大きく上回り、区平均正答率、全国平均正答率より上回っている。 既習事項や生活経験と関連付けて資料から正しく情報を読み取る力を付ける必要がある。 	<p>< 5年生 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、目標値や区平均正答率、全国平均正答率と同等である。 <p>< 6年生 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 6年生の平均正答率は、目標値を大きく上回り、区平均正答率、全国平均正答率より上回っている。 児童の意欲を引き出すような資料、「調べたい」を引き出す導入が必要である。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>< 4年生 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 「自分たちの県の地理的環境の概要を理解すること。」について、東京都の位置や地形、産業や交通等について他の道府県と比較して考える学習を継続していく。 社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題の追及・解決に必要な情報を集め、読み取れるようにする。 	<p>< 4年生 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 「考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。」ために単元の終末では、文章で記述することに加え、単元で活用した資料を複数活用して説明したり話し合ったりする学習活動を設定する。 	<p>< 4年生 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の終末では、これまでの学習を振り返り、学習成果を基に地域社会の発展について考える学習活動を設定する。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>< 5年生 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 地名や国名、国土を学習する際には、指を使って実際 	<p>< 5年生 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習過程を構築し、問いを解決するため 	<p>< 5年生 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 社会を支える人々の思いを想像させたり、自分の生活に生

<p>に触れさせ、位置関係やある地点からの距離、方向などを定着させるよう繰り返し行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に触れる機会を多くし、必ず視点を与えてから、資料を読み取らせる。 <p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 地図の見方、食料生産や工業生産の仕組みについての知識を定着させる必要がある。 年表や新聞づくりなどの学習活動を通して、調べた情報をまとめる技能を身に付けられるようにする。 	<p>に必要な情報を関連付けて考えさせる。思考ツールなどを活用し、考え方の工夫を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめでは、自分の力で書く活動を取り入れる。その際、大事な言葉や覚えてほしい言葉をキーワードとし、キーワードや根拠を入れた自分の考えを書くようにする。 <p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力を身に付けられるよう、視点を与えて資料を読み取らせる。 学習のまとめでは、既習事項や生活経験と結び付けて考えたことを自分の言葉で表現できるようにする。 	<p>かせることを考えたりする時間を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の興味関心を生かし、学習問題や一単位時間の課題を設定する。 <p><6年生></p> <ul style="list-style-type: none"> 導入では、生活と関連するものを積極的に扱い、「やってみたい」「調べてみたい」を引き出す。 児童自らが問いをもち、課題解決をしていくような授業形態を基本にする。
--	--	---